



リトルベビーハンドブック・ サニタリーボックスと学校の老朽化

向井 誠議員



リトルベビーハンドブック

質問 リトルベビーについての認識は。

答弁 出生体重1500g

未満の小さく生まれた赤ちゃんを表現する言葉であると認識しています。

質問 現在の母子健康手帳はどうなっているのか。

答弁 母子健康手帳は正期

産で生まれた赤ちゃんを想定しており、リトルベビーの保護者にとっては、身長

や体重を記入しようとする

と目盛りがなく、また、成長を記録する欄にも記入する

ところがありません。

質問 リトルベビーの保護者の方も記入できるハンドブック作成の考えは。

答弁 子育て支援モバイルサービスにおいて記録できるようになっていますが、

国や県及び県内の市町村の情報収集に努

めながら、今後検討していきます。



サニタリーボックス

質問 前立腺癌や膀胱癌の手術を受けた男性は頻尿や尿漏れが起きやすく、尿漏れパッドを使用することが多くあり、男性用トイレで

も使用済みのおむつや尿漏れパッドを廃棄するサニタリーボックスの設置が求められていますが、本市での対応をお尋ねします。

答弁 男性用トイレへのサニタリーボックスの設置については、積極的に検討していきます。設置時期については、今年度の予算残額を見込めるならば今年度中に、予算が厳しいようであれば来年度に対応していきたいと考えています。
公立学校の老朽化について

質問 文科省の調査で公立学校の7割以上で必要な改修が行われていないことが分かったようですが、本市における現状は。

答弁 本市の公立学校は90棟の建築物があり、代表的なものとして屋根や外壁の劣化による雨漏りが挙げられます。教育委員会では向こう5年間の中期改修計画を策定しており、莫大な費用も要することから、国の交付金や県と協議しながら改善に努力していきます。



物価高騰に対する事業者支援、 発達障がい者に対する支援の取組について

松本 隆志 議員



物価高騰に対する事業者支援

質問 物価高騰の影響を受けた事業者の経営環境等の状況について伺います。

答弁 幅広い業種で被害が生じており、約9割の事業者が景気回復の実感がないと回答、5割超の業者が、今後売上減少の見込みです。

質問 地域の実情に応じた

支援を講じる目的で、物価高騰対策の臨時交付金が支出されますが、支援策の方向性について伺います。

答弁 適切なタイミングと波及効果が重要で、いち早い対応が必要な場合は一律の支援金を、高い効果を追求する場合は、二次三次的な波及効果が生じる支援策

を策定します。ただし、実態把握、予算確保、事業設計、申請受付、支援実行と流れを踏む必要があり、早急な対応が課題と考えます。

要望 国や県と連携し、事業者の実情を踏まえた効果的な支援策をお願いします。

質問 3歳児までの検診で、乳幼児発達相談につなげた方々への支援を含め、本市の発達障がいに関する取組について伺います。

答弁 早期発見と課題解決

法のスキル向上を学習する人材育成、ぽんぽんキッズ等の保護者支援、市民講演会等の啓発活動の3つの支援を行っています。

質問 「ぽんぽんキッズ」の事業について伺います。

答弁 発達障がい早期発達支援の事業です。自閉スペクトラム症の確定診断を受けた3歳までのお子さんには社会性に対する支援を、その保護者にはコミュニケーション方法を一緒に考える支援を行っています。

質問 継続した支援として障がい児通所支援がありますが、現状はいかがですか。

答弁 市内に児童発達支援事業所は9事業所、放課後デイサービスは12事業所あります。平成30年には利用希望者に対し事業所数が不足していましたが、現状は十分な支援が提供されているものと認識しています。

要望 発達障がい児の早期発見、早期支援に努めていただき、個性が尊重される地域づくりをお願いします。